

診療科目：形成外科

カテゴリー：選択科目

一般目標：形成外科の基本的手技を身につけると同時に、皮膚病変、腫瘍、外傷の診断と治療の実際を研修する。

担当科：形成外科

期間：原則 1 ～ 3 ヶ月

A. 指導体制

1. スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日	指導・教育方法についての講習会の受講の有無
科目責任者指導医	長谷田泰男	副院長 形成外科診療部長	1974.5.1	有

研修医数：同時に 1 名

B. 指導原則・方法

1. 外来診療にて初診面接や処置の実際を行う。
2. 入院患者の処置を行い、創部処置の実際、創の治癒過程を学ぶ。
3. 手術の助手となり、形成外科の基本的手技を身につける。
4. 勉強会、リハビリカンファランスなどに参加する。

C. 週間スケジュール

		月	火	水	木	金
午前	9:30 まで	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
	9:30~	外来診療	回診	外来診療	回診	外来診療
午後	1:30~	外来診療 手術	手術	手術 リハ検討会 (第一水曜)	手術	症例検討 勉強会

D. 科目責任者からのメッセージ：形成外科の扱う疾患は、頭から趾先までの広い範囲の体表面を対象としています。また顔面骨骨折、手の外傷などの深部骨格や広範囲熱傷などの全身性疾患の治療にも当たっています。単に外科的に治す事が目標ではなくて、術後の整容面をも十分に考慮して治療に当たっています。

形成外科の基本的な考え方や基本的手技を学ぶことは、あらゆる外科医にとって貴重な研修になると考えています。

手術としては良性腫瘍摘出術がトップで、次いで手の手術、顔面外傷、潰瘍類、悪性腫

瘍が多く占めています。

研修期間は1ヶ月～3ヶ月と短期ですので、全てをマスターするというより、形成外科的思考方、形成外科的縫合法、創の閉鎖方法を体験する気持ちで研修されるのが良いと思います。1ヶ月の研修を希望される先生は、出来れば休みや学会の多い1月、4月、5月、9月、12月は避けられた方が多くの症例を見ることが出来ると思います。